

その上で、「この現状を踏まえてなお実現しなければならない市民ニーズは何か」「現状を続けていて本当によいのか」、私たち行政サービスを受ける側も問われているのだと思います。皆さんはどのようにお考えですか？

川口の指摘と提言

(3月議会 総務常任委員会質疑より)



- ★ 他の自治体ではコロナ対策に財政調整基金を使い、その残高の減少が昨今の課題であるとの認識を示す自治体が多い中、本市では、コロナ対策に使えるほどの財政調整基金残高がそもそもなく、危機に備えきれていない現状を指摘。
- ★ 市は、基金残高や予備費で足りなくなった場合は、改めて今の予算を組み換え、災害対応財源を造ることも可能と答弁されるが、新型コロナウイルス感染症流行の初期段階において、まさに私たちの会派が「予算の組み換えによるコロナ対応財源捻出」の必要性を訴えたが、その時も予算の組み換えは出来なかったと指摘。
- ★ 災害時のように急を要する対応策が求められる時にこそ、財政調整基金を活用できる体制を造るべきであり、一定程度以上は取り崩しはせずに、確保すべき！と提言。

補正予算関連

地方財政の財源不足への対応として、普通交付税17.7億円が追加交付

地方財政の巨額の財源不足への対応として、特例的に地方交付税が増額措置されたもの。



さらに32億円余の追加補正予算も可決

主な事業

* 新型コロナウイルスワクチン接種事業	約3億円 (全額国費)
* 都市計画道路川越所沢線整備に係わる土地購入費	約2億円(国補助金0.8億円、市債1.15億円)
* 小学校大規模改造工事及びトイレ改修工事	約4.5億円(国交付金1.3億円、市債3.2億円)
* 中学校校大規模改造工事及びトイレ改修工事	約5億円(国交付金1.4億円、市債3.5億円)
* 中学校施設整備(増級分及び特別教室空調工事)	約1.5億円(国補助金0.2億円、市債1.3億円)
* 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	約5.4億円(国交付金5.4億円)
* ひとり親世帯生活応援支援金事業	約1.65億円(国交付金1.65億円)
* 民間保育所等のICT化	約1.6億円(国費1.5億円、市債0.1億円)
* 市立保育園の感染拡大防止関連費	約1.2億円(ほぼ全額国費)
* コロナ患者受け入れ医療機関への補助	約0.9億円(全額国交付金)
* 学童保育室感染拡大防止関連費及びICT化	約1.2億円(国費0.8億円、県費0.3億円)

皆様の声 届けます！ 道路編

継ぎはぎで凌いできた学校前の市道舗装を西側から順に改修。

市道脇の農地への脱輪事故多発地帯の境界に、反射板付きポールを3本設置。



改修前



改修後



改修前



改修後

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていけるための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーをご希望の場合はお届けします。ホームページでも見られます。[川口けいすけ]で検索又は上記QRコードで！



